

---

**第19回 日本水大賞**  
**2017 日本ストックホルム青少年水大賞**

---

**受賞者へお祝いの言葉**

---

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

「第19回日本水大賞」におきまして、久留米市立金島小学校の皆さまが大賞を受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

金島小学校の皆さまは、久留米市北野町にある床島堰や、床島堰の築造に携わった5人の庄屋についての学習とともに、それらをテーマにした創作劇の上演などを通じ、「郷土の歴史」や「水の大切さ」を学ぶ活動を20年間続けてこられました。今回の受賞は、このような長年にわたる活動が高く評価されたものと考えます。

また、低学年の時期から、積極的に筑後川を学習の教材として取り入れ、さらには児童だけでなく、地元の方々やPTAの皆さんの協力を得ながら、地域を挙げた活動を進めてこられていることに深く敬意を表します。

福岡県においても、県内のさまざまな地域で活動されている方々の交流を図るため、「ふくおか水もり自慢！」を開催するなど、川や水に関わる方々の連携を深め、活動を活発にしていこうとしています。

今回の受賞を契機に、金島小学校の皆さまの活動が今後ますます発展し、さらに飛躍されることを祈念いたします。

平成29年7月11日  
福岡県知事 小川 洋

## 祝 辞

第19回日本水大賞「国土交通大臣賞」を受賞された「PFI佐原リバー株式会社」の皆様へ、心からお祝い申し上げます。

「PFI佐原リバー株式会社」の皆様は、「水の郷さわら・川の駅・道の駅」を拠点とし、利根川や小野川などにおいて、行政や観光協会と協働した親水イベントや、水文化である「さっぱ舟」の操船体験教室、災害時に利用できるボートの操船大会などを開催されています。

とりわけ市民ボランティアによる水防災の基礎知識の解説や利根川の歴史文化の伝承などの取組には、これまで16万人以上の方が参加するなど、様々な活動を通じて、地域の活性化、水文化後継者の育成、防災教育などに尽力してこられました。

さらに、こうした活動は、民間活力による地域創生という観点からも模範になるとして高く評価されたものと伺っております。

千葉県では、印旛沼や手賀沼などにおいて、水防災や水環境の改善などの課題に対して、地域の方々と協働した流域の水循環健全化に取り組んでいるところであり、受賞された皆様の活動に心から敬意を表します。

今回の受賞を契機に、皆様の活動がますます発展されることを祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
千葉県知事 森田 健作

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

サクラマス・レストレーションの皆さま、「第19回日本水大賞環境大臣賞」の受賞、誠におめでとうございます。

皆さまは、サクラマスの生態を研究し、地域の方々や漁業関係者、行政等と連携して、河川の連続性や産卵のための河床環境の改善などを進めてこられました。今回の受賞は、継続した資源保護活動により、サクラマスの遡上数が増加したことや、環境学習・体験学習を通じて地域の子どもの意識向上に寄与したことが高く評価されたものであり、心より敬意を表するものであります。

福井県では、福井県産サクラマスの資源安定化を図るため、九頭竜川において、サクラマス稚魚の育成・放流に加え、簡易魚道・人工産卵場の研究などに取り組んでいます。皆さまにはサクラマス親魚の捕獲や産卵環境の造成など、多岐にわたりご助力をいただいております。大変心強く感じております。

サクラマス釣りの聖地としても注目が集まっている九頭竜川の自然環境は私たちの誇りであり、将来にわたってその豊かさをつないでいくことは非常に大切なことです。今後もその豊かさを守り育てるためにご尽力いただきますようお願いいたします。

最後に今回の受賞を契機に、皆さまの活動が今後ますます発展することを祈念して、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
福井県知事 西川 一誠

## 祝 辞

「第19回日本水大賞」の各賞を受賞された皆様、誠におめでとうございます。

「WaQuAC-NET」は、インターネットを通して途上国の水道技術者と日本の水道専門家とのネットワークを構築し、日本の水道技術を伝授されるとともに、アジアの水道関係者から寄せられた問題に対して解決策を迅速に提供されてきました。「八丈町立富士中学校 自然科学部」は、調査を通して樹木の種類によって雨水の集水量が異なることを見出し、雨水の利用による水資源の節約や、災害時への活用など、今後の展開が大いに期待される取組みを行われました。「水の巡回展ネットワーク」は、ゲリラ豪雨展や雨といきもの展を、6年間に計75館で開催されており、多くの方々に水防災や水環境について知ってもらう取組みを続けてこられました。

このような皆様の、世界へ、そして未来へと繋がる活動が高く評価され、今回の受賞につながったものと思います。

私は、東京を、世界をリードする環境先進都市、サステイナブルな「スマートシティ」としていきなりたいと思っています。そのためには、東京の水と緑の魅力を一層向上させることが重要です。川や海などが都民により身近なものとなるよう、水辺空間の整備や水質改善に取り組んでまいります。

受賞された皆様方におかれましては、今回の受賞を契機に、水資源や水環境の保全、水に関する文化や技術の伝授に向けて、益々ご活躍されることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
東京都知事 小池 百合子

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第19回日本水大賞「農林水産大臣賞」を受賞された「福島市立渡利中学校 科学部」の皆様、誠におめでとうございます。

福島市立渡利中学校科学部の皆様は、東日本大震災による津波で塩害を受けた農地を回復させるため、繁殖力の強い水草のホテイアオイが塩分を吸収する能力があることを明らかにし、水を張った田畑の塩分をホテイアオイで吸収する方法を提案するとともに、アブラナ科のコマツナやハダイコンの耐塩性が高いことについて研究され、塩害土壌における農業復興に向けた野菜栽培の有効性を証明されました。

このたびの受賞は、福島県が直面する震災からの復興に向け、生徒の皆様が自分たちに何ができるかを考え、主体的に研究に取り組み、具体的な改善策を見出された点が高く評価されたものと考えております。

震災から6年余りが経過し、県内外の多くの方々からの温かい御支援により、福島県の復興は着実にその歩みを進めておりますが、このような中、次世代を担う皆様が津波被災地の復興に果敢に立ち向かい、素晴らしい成果を上げられていることは、福島に元気と希望を与え、県民の心の支えになるものと確信しております。

今回の受賞を契機として、皆様が今後ますます御活躍されることを心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
福島県知事 内堀 雅雄

## 祝 辞

静岡県立静岡北特別支援学校の皆様、「第19回日本水大賞・文部科学大臣賞」の受賞、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

皆様が2014年度から始められたプロジェクト「麻活」は、学校に隣接する麻機遊水地と周辺の里山が持つ場の力を生かした継続的な活動により、在来植物を保全し稀少植物を再生する等の成果を挙げておられます。また、地域の方々やNPO、専門家、企業等との協働を通じ、地域との強いつながりを築かれ、治水、利用、環境が調和した遊水地の実現を目指す「麻機遊水地保全活用推進協議会」の推進力になっています。

皆様の活動は、遊水地の多面的な価値の向上に寄与するとともに、地域の活性化に多大な貢献をされておられます。

静岡県では、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、社会の一員としてより良い社会づくりに参画し行動する人材を育成する「有徳の人」づくりに取り組んでおります。皆様の活動はまさに「有徳の人」づくりそのものであり、心から敬意を表しますとともに、今回の受賞を機に皆様の活動がますます発展されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
静岡県知事 川勝 平太

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第19回日本水大賞「経済産業大臣賞」を受賞された株式会社スマイリーアースの皆様、「未来開拓賞」を受賞された大阪府立富田林高等学校科学部の皆様に心からお祝いを申し上げます。

株式会社スマイリーアースの皆様が、今回確立されたタオル製造における生産プロセスは、循環型環境ストレスフリーを実現し、地域の環境負荷を最小化するだけにとどまらず、中小企業の振興にも寄与する点が高く評価されました。

泉佐野市の大切な地場産業であるタオル製造において、長年にわたり創意工夫をこらし、水循環健全化に努める姿勢に深く敬意を表します。

大阪府立富田林高等学校科学部の皆様のアユとゲンジボタルの再生活動は、地域における問題意識の醸成や課題解決への機運を高めた点が高く評価されました。

アユの遡上の成功は、大阪を流れる河川、石川のアユ再生の大きな一歩となり、共に取り組んでいる大阪府としても大変喜ばしい成果です。

将来を担う若い世代が、地域の方々や大学、行政に働きかけ、環境を保全しようとする姿を大変心強く、誇りに思います。

環境の保全に努める姿勢に敬意を表するとともに、今回の受賞を契機に、皆様がさらなる成果を上げられることを祈念し、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
大阪府知事 松井 一郎

## 祝 辞

この度、「余笹川流域連携ネットワーク」の皆様が第19回日本水大賞「市民活動賞」を受賞されたことに対し、心からお祝い申し上げます。

皆様は、平成10年の那須水害で被災した余笹川流域において、復旧・改修された余笹川等の水質、魚類、河道環境の変化等を定期的かつ持続的に調査し、多角的な見地から研究に取り組んでこられました。さらに、「川の日記念事業」として、地域の子どもたちを対象に鮎の友釣り教室や川遊び体験等を行うことで、河川への理解や愛着心の醸成に努められ、また、河川改修によって整備された堤防を利用し、県内外から多くの参加者を得て、「よささウォーク」というイベントを開催し、それに併せて河川の美化活動にも取り組むなど、地域の活性化や河川環境の保全に、大きく貢献されていると伺っています。

今回の受賞は、皆様がこれまで取り組んでこられた、これらの幅広い活動が高く評価された結果と考えております。

栃木県においても、地域住民との協働による河川愛護活動を推進している中、皆様が大賞「市民活動賞」を受賞されましたことは大変喜ばしい限りです。

皆様の新たな水文化の創造活動が、今回の受賞を機にますます発展されることを祈念申し上げて、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
栃木県知事 福田 富一

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

第19回日本水大賞「国際貢献賞」を受賞された「特定非営利活動法人イカオ・アコ」の皆様に、心からお祝い申し上げます。

今回の受賞は、フィリピンにおいて住民団体を組織化して植林事業を進めるとともに、有機農業や灌漑水路整備の技術指導により生計を向上させることで、現地の人々の収入源と事業継続に必要な費用を確保するという仕組みを作られた点が高く評価されたものと思います。

愛知県の自然は、人の手のよる喪失と再生を繰り返しており、開発を進めながらも工夫と努力によって自然を保全・再生してきました。愛知県では河川沿いに地域の方々の手で苗木を植え、河畔林に育てることで、河川など自然と地域との関係の再構築にも取り組んでおり、さらにこの取り組みを持続可能な関係にすることが重要となっています。

今回、受賞された皆様は、海外において自然と地域との継続的な関係を構築することに取り組まれており、皆様の御尽力に心から敬意を表します。

最後に、皆様の今後の益々の発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
愛知県知事 大村 秀章

## 祝 辞

第19回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました北海道コカ・コーラボトリング株式会社に心からお祝いを申し上げます。

この度受賞された「北海道e-水プロジェクト」の取組は、北海道の環境保全に貢献したいという御社の熱い思いを受けて、北海道及び公益財団法人北海道環境財団との協働事業として平成22年からスタートし、道内各地域の民間団体等が取り組む水辺の環境保全活動等にご支援をいただいています。資金面での支援はもとより、社員の皆様自らも道内各地で開催される環境保全活動に参加されるなど、全社挙げての取組に深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

北海道の豊かな自然環境は、清流日本一とされる河川や透明度の高い湖、さらには知床世界自然遺産などに代表される水環境の素晴らしさを根幹としています。

今回の受賞を弾みとして、北海道の素晴らしい水環境を次世代に引き継ぐ活動が今後とも活発に展開されていくことを願い、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
北海道知事 高橋 はるみ

---

# 受賞者へお祝いの言葉

---

## 祝 辞

「公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク」の皆様、第19回日本水大賞「審査部会特別賞」の受賞、誠にありがとうございます。心からお祝いを申し上げます。

このたびの受賞は、地域で様々に祀られてきた「水の神さま」についての言い伝えや歴史を、地域の人々に取材し、水の大切さや教訓をマップ等にまとめ、WEBで発信してきた取組が、地域住民の水防災、水資源の重要性の気付きに結びつくものであると高く評価されたものと伺っており、皆様の着想と御努力に深く敬意を表するものであります。

宮城県においても、近年の異常気象による豪雨を踏まえ、水防災意識社会の再構築に取り組んでおり、こうしたなか、「公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク」の皆様が第19回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されましたことは大変心強く、誠に喜ばしい限りであります。

これまで活動を支えてこられた関係者の皆様の御尽力に心から敬意を表しますとともに、今回の受賞を励みに、今後ますます御活躍されることを祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
宮城県知事 村井 嘉浩

## 祝 辞

第19回日本水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました特定非営利活動法人e-plus生涯学習研究所の皆様、そして2017日本ストックホルム青少年水大賞「審査部会特別賞」を受賞されました岐阜県立岐山高等学校生物部カワニナ班の皆様、おめでとうございます。

e-plus生涯学習研究所の皆様は、環境学習を通じ、河川や自然の素晴らしさを多くの人に普及してこられました。さらに、「水の循環」、「森と川のつながり」といった水環境の学習方法を体系化し、導入・体験・まとめをパッケージで効果的に、楽しく気軽に学べるようにされる等、これまでの様々な活動が高く評価されたものと存じます。

また、岐山高等学校生物部の皆様は、カワニナの生態的・遺伝的研究により、他の地域種の放流が地元の生態系に影響を与えることを探求し、関係者への働きかけを通じて放流活動の改善に繋げる等、高度な研究と環境保全の取組への展開が高く評価されたものと存じます。

今回受賞された各団体の活動は、将来を担う世代を育成する大変心強い取組みであり、まさに本県が進めている「清流の国ぎふ」づくりを支えるものであります。今後も皆様の更なる活動の発展と関係する皆様のご活躍を祈念するとともに、また活動を支えられてこられた関係の皆様のご尽力に心から敬意を表しまして、お祝いの言葉といたします。

平成29年7月11日  
岐阜県知事 古田 肇

# 受賞者へお祝いの言葉

## 祝 辞

2017日本ストックホルム青少年水大賞を受賞された「京都府立桂高等学校『地球を守る新技術の開発』研究班」の皆様、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

日々、地球環境を守るための技術を磨いておられる皆様におかれましては、下水処理場の廃棄物である汚泥からリン酸とアンモニアを除去する時に結晶として発生するリン酸マグネシウムアンモニウムが生体鉱物かつ可溶性であることに注目し、雑草種子発芽抑制とノシバ生育促進を両立させる濃度を試験や実証実験により発見されました。この技術は、多様な農業用肥料や緑化資材としての活用が期待され、世界的な緑化促進に寄与するとともに、安心安全な河川の維持管理に大きく貢献するものであり、ここに深く敬意を表します。

次代を担う皆様が水分野におけるこのような栄誉ある賞を受けられたことは、京都議定書が採択されたこの京都の地において、環境問題に対する関心が若い世代に培われている証であり、大変心強く感じ、誇りに思います。

京都府といたしましても、安心して暮らせる社会を築いていくため、豊かな自然環境の保全や治水対策の推進など、水とともに生きていく取組を進めております。

今後とも、京都府立桂高等学校「地球を守る新技術の開発」研究班の皆様の熱意と探求心による活動が、これからの京都府の未来に新しい流れをもたらすことを心から期待いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

平成29年7月11日  
京都府知事 山田 啓二